

令和 6 年度



長崎県学力調査

小学校第 5 学年 国 語

注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 17 ページまであります。
- 3 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 4 印刷がはっきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 かい答時間は、四十分間です。かい答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く場所があります。まちがいのないように書きましょう。
- 7 かい答用紙の「補助票」には何も記入しないでください。

長崎県教育委員会

西山さんの学級では、「食べ物の意外な使われ方」について調べ、友達としようかいし合うことにしました。次は、【西山さんの考え】と西山さんが読んだ【資料】です。これらをよく読んであとの問いに答えましょう。

【西山さんの考え】

「食べ物の意外な使われ方」についての本を何さつか読んだけど、ナタデココの使われ方が一番意外だったな。ナタデココの使われ方について友達にしようかいしよう。



西山さん

【資料】

（「ナタデココからけいたい電話の画面」による）

（「ナタデココからけいたい電話の画面」による）

— 西山さんは、【資料】^{しりょう}を読みながらもう一度、文の意味をたしかめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 次のアの文について、……………部「見えます」の主語としてふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア できあがったナタデココをけんび鏡で見ると、びっしりとつまった、たくさんのせんいが集まって見えます。

1 ナタデココを

2 けんび鏡で

3 せんいが

4 集まって

(2) 次のウの文について、……………部「新しい」はどの言葉をくわしくしていますか。ふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ウ これは、「有機EL」^{ゆうきイーエル}という新しいしくみのディスプレイの表面に使うシート材料として、とても都合のよいつくりになっています。

1 「有機EL」^{ゆうきイーエル}という

2 しくみの

3 ディスプレイの

4 シート材料として

二 西山さんは、ナタデココでディスプレイを作る研究についてまとめられました。次の(1)から(3)の問いに答えましょう。

(1) 西山さんは、——部イ「微生物セルロース」について説明しようとしています。その説明としてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ナタデココのせんい
- 2 酢酸菌さくさんきんという微生物びせいぶつ
- 3 ナタデココの原料
- 4 有機ELゆうきイーエルの光

(3) 西山さんは、——部オ「ナタデココから作ったディスプレイ」の持ちようについて分かったことをメモに整理しています。

次の【西山さんのメモ】の **力** に当てはまる内容としてふさわしくないものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【西山さんのメモ】

◎ナタデココから作ったディスプレイの持ちよう

力

- ・じょうぶなうえにとてもやわらかい。
- ・ななめの角度からでもきれいに见ることができゐる。
- ・うすい。(あつさがーミリメートル以下)

1 かんきようにやさしい。

2 映像えいざうを表示するスピードひようじが速い。

3 ちよつとくらい曲げてもこゐれない。

4 「バックライト」という特別なしくみが必要。

山崎さんの学級では、自分たちが住む地いきのよさを全校にしようかいするために、グループごとに相手を決めてインタビューすることになりました。次は、【山崎さんの考え】と【インタビュー計画】、【インタビューの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山崎さんの考え】

ぼくは、地いきのよさはお祭りだと思うな。四年ぶりに開さいされるから、くわしく調べて、全校のみんなに知ってもらいたいな。三原さんといっしょに、実行委員の大木さんにインタビューをして、お祭りのことを聞いてみよう。

【インタビュー計画】

インタビューの 日時・場所・相手

日時：6月6日 木曜日

午後2時から

場所：青葉公民館

相手：実行委員の大木さん

インタビューの目的

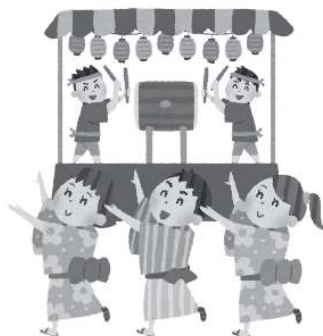
地いきで4年ぶりに開さいされるお祭りをくわしく知り、学校の人々にしようかいするため。

インタビューで 聞きたいこと

1. 開さいする目的
2. お祭りの見所
3. 開さい日時

インタビューの 記録の仕方

後からかくにんできるように、タブレットでインタビューの様子をさつえいする。(さつえいのきょかをもらう)



山崎さん

【インタビューの様子】

山崎さん



こんにちは。青葉小学校五年の山崎と三原です。ぼくたちは、四年ぶりに行われるお祭りについて調べて、学校でしようかいをしたいと考えています。今日はお話を聞かせてください。

大木さん



分かりました。なんでも聞いてください。

山崎さん



では、三つしつ問します。まず、一つ目のしつ問です。お祭りを開さいする目的を教えてください。

大木さん



お祭りを開さいする一番の目的は、お祭りをきっかけに、地いきのみなさんに、なかを深めてもらうことです。四年ぶりに開さいできるので、地いきのみなさんに心から楽しい時間をすごしてもらいたいです。

三原さん



ありがとうございます。次に、二つ目のしつ問です。お祭りの見所を教えてください。

大木さん



そうですね。見所はいくつかあります。まずは、かき氷やくじ引き、たこ焼きといったたくさんのお店です。出店の数は二十もあります。また、ダンススクールの小学生十五人が、ダンスの発表をするところも見所ですね。最近の曲もおどつてくれます。そして、一番の見所は、はく力満点のたいこのえんそうです。私たち実行委員は、お祭りのために一年前からたいこの練習を始めています。大きなたいこを使って三十人でえんそうするので、大きな音でとてもはく力がありますよ。青葉小学校の子どもたちも、何人かえんそうにさんかしますよ。

山崎さん



そうなのですね。最後に、三つ目のしつ問です。

A

大木さん



七月六日の土曜日にあります。時間は午後四時から午後八時までです。ちなみに、場所は青葉公民館前広場です。

三原さん



分かりました。おいそがしい中、インタビューに答えていただきありがとうございます。お祭りについて、たくさん知ることができたので、しっかりまとめて学校みんなにしようかいます。

大木さん



こちらこそありがとうございました。お二人も、ぜひお祭りに遊びに来てくださいね。よろしくお願いします。

一 山崎さんたちは、インタビューをする前に【インタビュー計画】をじゅんびしました。【インタビュー計画】をじゅんびした理由について、ふさわしくないものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 インタビューで、聞きたいことを整理するため。
- 2 話す時に、声の大きさや強弱をくふうするため。
- 3 いつ、どこで、だれにインタビューをするかたしかめるため。
- 4 インタビューの記録の仕方をたしかめるため。

二 【インタビューの様子】の中で、

A

に当てはまる言葉としてふさわしいものを、【インタビュー計画】を参考にして、次の

1 から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 お祭りの開さい日時を教えてください。
- 2 お祭りの開さい場所を教えてください。
- 3 お祭りが四年ぶりに開さいされる理由を教えてください。
- 4 お祭りでだれがたいこをたたか教えてください。

三 山崎さんたちは、タブレットでさつえいしたインタビューの様子をもとに、全校にしようかいするための【原こう】を書きました。

次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 山崎さんは、自分が書いた【原こう】について、三原さんにアドバイスをもらい、【原こう】を書きかえました。山崎さんが【書き

かえた原こう】の中で B に当てはまる文を、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【原こう】

私たちがしょうかいしたい地いきのよさは、お祭りです。
七月六日土曜日の午後四時から午後八時まで、青葉公民館前広場で、四年ぶりにお祭りが開きいされます。
お祭りを開きいする目的は、お祭りをきっかけに、地いきの人たちになかを深めてもらうことです。見所は、かき氷やくじ引きといった出店があったり、ダンスのはっぴようやたいこのえんそうがあったりするところです。
みなさん、ぜひお祭りに行ってみてください。

大木さんは、一番の見所がたいこのえんそうだと言っていたから、たいこのえんそうのことをくわしく伝えたほうがいいと思うよ。



三原さん

【書きかえた原こう】

私たちがしょうかいしたい地いきのよさは、お祭りです。
七月六日土曜日の午後四時から午後八時まで、青葉公民館前広場で、四年ぶりにお祭りが開きいされます。
お祭りを開きいする目的は、お祭りをきっかけに、地いきの人たちになかを深めてもらうことです。お祭りでは、かき氷やくじ引きといった出店があったり、ダンスの発表があったりします。一番の見所は、青葉小の子どもたちもさい^イするたいこのえんそうです。
B
みなさん、ぜひお祭りに行ってみてください。

- 1 最近の曲をえんそうするので、小学生から大人まで楽しめます。
- 2 午後四時から始まるので、おくれないうちに気をつけてください。
- 3 小学生十五人が、一年前から練習を始めていたそうです。
- 4 大きなたいこでえんそうするので、とてもはく力があるそうです。

(2) 山崎さんは、学習した漢字を使わずに、ひらがなで書いていることに気づき、書き直すことにしました。【書きかえた原こう】の中に

ある、——線ア、イのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

地いきの人たちになか^アを深めてもらうことです。

青葉小の子どもたちもさんか^イするたいこのえんそうです。

問題は、次のページに続きます。

本村さんは、「なぜ図書室を利用する人がふえているのか」について調べ、ほうこくする文章を書こうとしています。次は、【本村さんの考え】と本村さんの【調べたことのメモ】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【本村さんの考え】

図書室を利用する人がふえているのは、図書室に行きたくなくなるようなたくさんのくふうがあるからということが分かったぞ。メモをもとにそのことを友達に伝える文章を書いて、もつと図書室を利用する人をふやしたいな。



本村さん

【調べたことのメモ】

メモ①

〈気づいたこと〉

おすすめの本をしょうかいしているコーナーがある。

くふう 2

〈分かったこと〉

- ・新しく入った本や行事に関係する本を集めてならべている。
- ・本の内ようやおすすめの理由などが書いてある。

〈思ったこと・考えたこと〉

本を読みたいと思うきっかけになる。

メモ②

〈気づいたこと〉

読書カードに記録する。

くふう 3

〈分かったこと〉

- ・1さつ本を借りると、読書カードに1回スタンプをおすことができる。
- ・新しいカードをもらうごとに、色が変わる。

〈思ったこと・考えたこと〉

本をたくさん読もうという気持ちになる。

メモ③

〈気づいたこと〉

図書室でイベントがある。

くふう 1

〈分かったこと〉

- ・毎週金曜日の昼休みにしおりを作る。
- ・毎月1回図書委員会による読み聞かせがある。

〈思ったこと・考えたこと〉

図書室に行くきっかけになる。

【ほうこくする文章】

なぜ図書室を利用する人がふえているのか

一年前とくらべて、図書室を利用している人がふえています。なぜ利用する人がふえているのか調べるため、アと考え、実さいに図書室に行ってみました。調べてみると、みんなが図書室に行きたくなるようなくふうがありました。そのくふうについて、三つほうこくします。

一つ目のくふうは、図書室でのイベントです。例えば、
A それらが、図書室に行くきっかけになります。

二つ目のくふうは、おすすめの本のしょうかいです。例えば、新しく入った本や行事に関係する本をならべたり、本の内ようやおすすめの理由などを書いたりしているコーナーがあります。それらが、本を読むきっかけにつながっています。

三つ目のくふうは、読書カードへの記録イです。例えば、1 ずつ本を借りると読書カードにスタンプを 1 回おすことができたり、新しいカードをもらうごとにカードの色が変わったりします。それらが、本をたくさん読もうという気持ちにつながっています。

このように、図書室には、みんなに利用してもらうためのくふうがたくさんありました。そのことで、図書室の利用がふえていることが分かりました。そして、私たちが図書室を楽しく利用できるのは、図書室の先生や図書委員会ウのみなさんのおかげだと強く感じました。だから、みんなにもっと図書室を利用してほしいと思います。

へじょうけん

○ 【調べたことのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十五字以上、五十字以内にまとめること。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

例	え	ば	、	◆					

35字

50字

※ 上は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

※ ◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

二 本村さんは、【ほうこくする文章】の始めの部分を書いているときに、これまで書きためていたことわざカードの一つが思いうかび、そのことわざを使いました。アに入ることわざについて書かれたカードとして最もふさわしいものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 百聞は一見にしかず

(意味) 何度聞くより、一度実さいに自分の目で見るほうがまさること。

2 月とすっぽん

(意味) 二つのものが、形はにいても、くらべられないくらいに差があること。

3 石の上にも三年

(意味) つらくて大変なことでも、しんぼうして続ければ、いつかは成功するということ。

4 転ばぬ先のつえ

(意味) 失敗しないように、あらかじめ十分に用心しておくこと。そのような用心が大切だということ。

三 本村さんは、【ほうこくする文章】を友達だけでなく、三・四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

—— 部イ、ウの漢字の読みがなをひらがなで書きましょう。

三つ目のくふうは、読書カードへの^イ記録です。

そして、私たちが図書室を楽しく利用できるのは、図書室の先生や図書^ウ委員会のみなさんのおかげだと強く感じました。

四 本村さんの【ほうこくする文章】は、調べたことを分かりやすく伝えるために、文章の組み立てがくふうされています。そのくふうの説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 図書室に行きたくなるくふうを、メモの番号どおりに書いている。
- 2 調べて感じたことを、文章の始めに書いている。
- 3 内ようのまとまりごとに段落^{だん}を分けて書いている。
- 4 調べて分かったことを、一つの段落^{だん}にまとめて書いている。

これで、
国語の問題は終わります。

